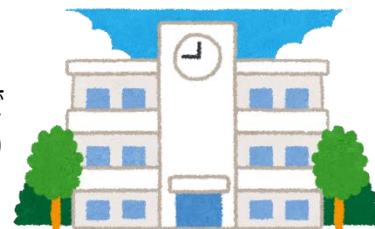


音楽室だより

音楽室便り No.2
令和 2 年 5 月 1 8 日発行
中野区立中野本郷小学校
校長 柳沢 晶子
音楽専科 小田 康介

先週は、久しぶりに学校へ来た人も多かったと思います。中には、学校どころか外へ出るのが久しぶりという人もいたのではないのでしょうか。早く新型コロナウイルス感染症の拡大が終息し、元通り過ごせる毎日になるといいですね。



さて「音楽室だより No.1」で予告した内容について、プリント等を作成して HP に載せておきました。ねらいや取組み方について下に書きましたので、ぜひやってみてください。

①「共通教材」と「音楽ワークシート」について

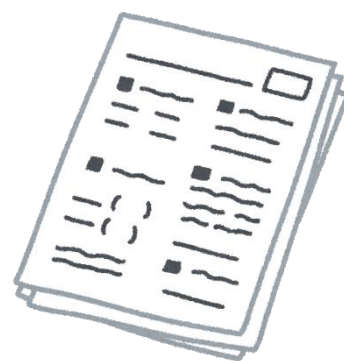


前回のお便りに書いた「**共通教材**」とは、教科書の目次に **共** というマークがついている曲で、その多くが明治～昭和初期につくられた曲です。中には 100 年近く前に作られた曲もあるので、現代の曲と比べると刺激が少なく、ちょっと物足りなく感じることもあるかもしれません。

しかし素朴な旋律（メロディ）や歌詞によって、今では見ることが少なくなってしまった自然風景などが描かれており、何度もくり返し触れることで、徐々にそのよさや美しさを味わうことができるようになります。

ところが昨年度、児童の皆さんに協力してもらった授業アンケートでは、こうした共通教材を「情景を思い浮かべながら歌う」というのが、一番手応えが少ないという結果が出ました。

そこで、それを少しでも補えるよう作ったのが「**音楽ワークシート**」です。最初にも書いた通り、昔の歌なので難しい言葉も多いと思いますが、意味を調べたり、教科書の写真と見比べたりしながら、ぜひ取り組んでみてください。



なお PC やタブレット等で実際に歌を聴きながら取り組めるよう、ワークシートの中に教科書会社 HP へのリンクを掲載しておきました。下の2つの方法いずれかで開くことができますので、試してみてください。(下はサンプルなので、いずれも学校 HP が開きます)



CD マークを PC 等の画面でクリックする。



QR コードをタブレット等で読み込む。

② 「なぞとき音楽ドリル」と「ピタゴラス」について

今週は「なぞとき音楽ドリル」の⑤と⑥を載せておきました。ここまででは、内容を音符や休符の「種類」と「長さ」にしぼって作ってみましたが、いかがですか？ ドリルを進めるうちに、なんだか「算数」みたいだと感じた人も、いるのではないのでしょうか？

実は、いま皆さんが使っている「ドレミファソラシド」という音階を最初に発見したのは、古代ギリシャの「ピタゴラス」という数学者だったと言われています。（「ピタゴラスイッチ」の番組名の由来になったピタゴラスです）

一見、あまり関係なさそうな「音楽」と「算数」ですが、本来は密接なつながりのある教科です。「算数みたいだな」と思って楽譜と付き合っているうちに、だんだんと音楽と算数、どちらも得意になっていくこともあるかもしれませんね。

（そういえば小田先生も昔、算数の先生をしていた時代がありました。笑）



③ 「プログラミングで音楽づくり」

お伝えの通り、学校再開後の授業でも活用を検討していますが、興味のある人が休業期間中に試すことができるように「プログラミングで音楽づくり」という全学年共通のプリントを作りました。プログラミングで音楽を作る活動を通して、音楽の仕組みや言葉を覚えられるよう考えてみました。



進むにつれて、本来は高学年の教科書に出てくる音楽記号も出てきますが、あまり難しく考えずに、どの学年でもチャレンジしてみてくださいね。また先生も初めて行う取組みなので、いろいろ頭を悩ませながら作っています。「簡単にできた」「ここが分かりにくかった」など、学校が再開したら、ぜひ色々な意見を聞かせてください。

♪おまけ♪

休校期間中、皆さんはどんなことをして過ごしていますか？

先生は先日、家族でうどんを手打ちして食べました。材料は小麦粉と塩だけなので、意外と簡単にできますよ。作り方はインターネットで調べられます。打ち立てのうどんは、コシがあって美味しいので、おすすめですよ。

